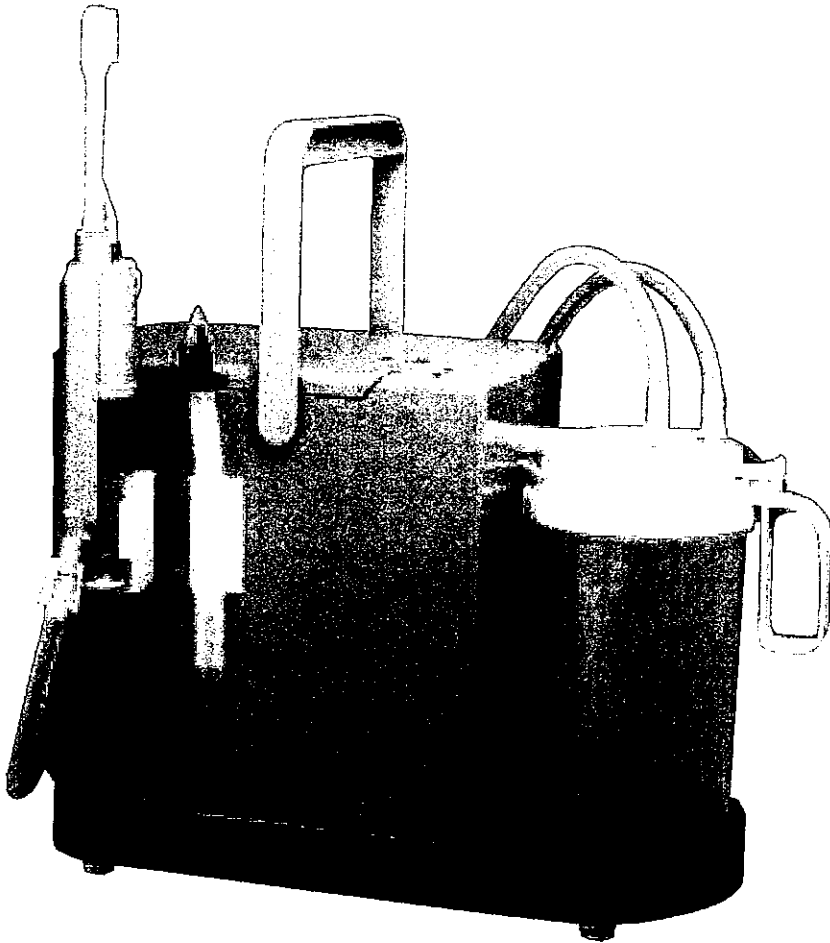


ビバラックプラス

取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しく安全にご使用ください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので必ず保存してください。



目次

- ◆注意事項
- ◆各部名称
- ◆ご使用の準備
 - 共通の準備
 - 『注水チップ・吸引チップ』の準備
 - 『吸引歯ブラシ』の準備
 - 『注水・吸引歯ブラシ』の準備
- ◆ご使用方法
 - ①『吸引歯ブラシの使い方』
(座位が保てる人の場合)
 - ②『吸引歯ブラシの使い方』
(座位が保てない人の場合)
 - ③『注水・吸引歯ブラシの使い方』
(座位が保てる人の場合)
 - ④『注水・吸引歯ブラシの使い方』
(座位が保てない人の場合)
- ◆ご使用後の取扱い
- ◆ご注意/故障かな? と思ったら

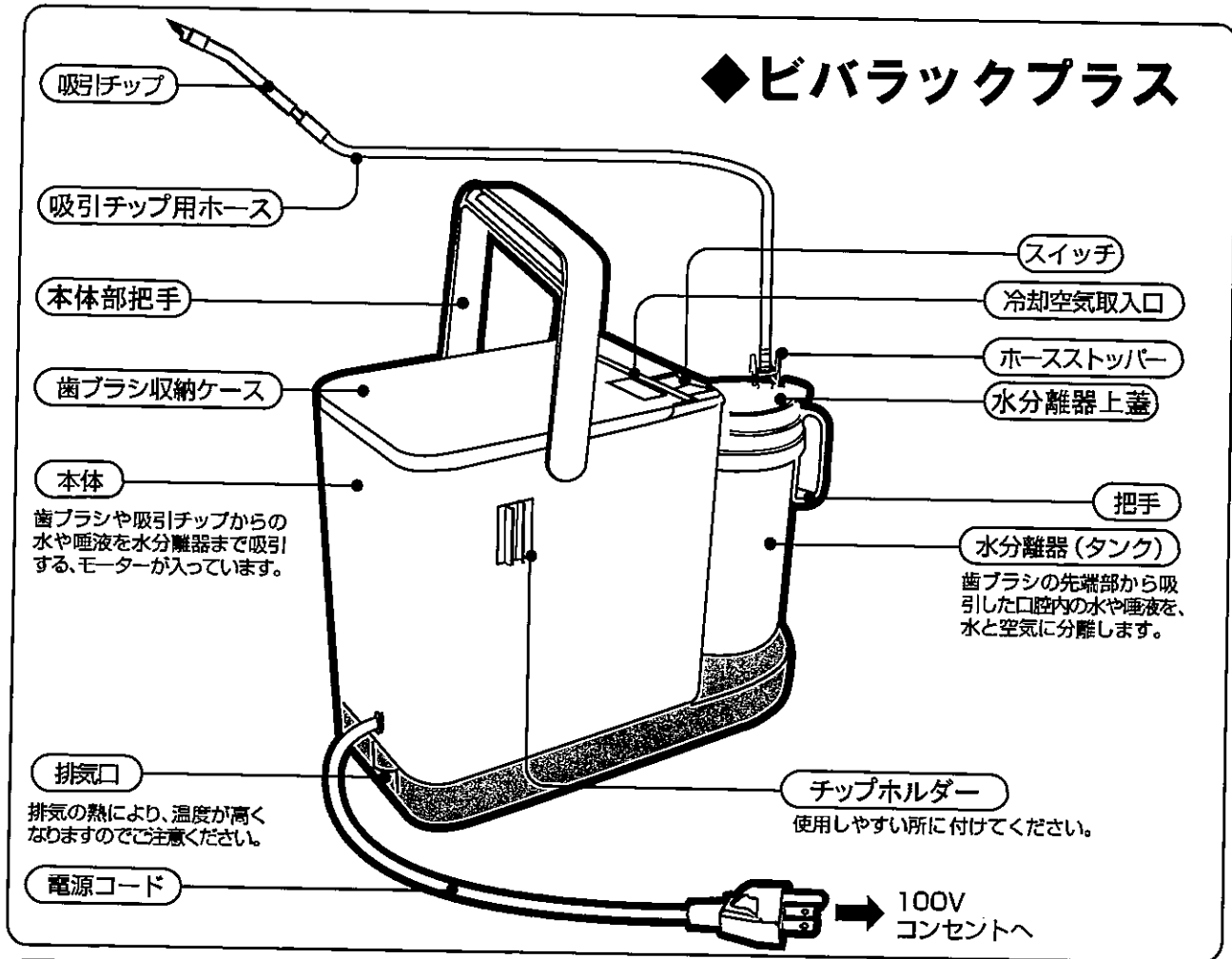
『ビバラックプラス』は高齢や障害のために、ご自分で歯を磨けない方の介護に携わる方用に開発された、注水と吸引が同時に行える(※1)口腔内清掃用器具です。

※1注水・吸引歯ブラシセットをお使い頂いた場合。

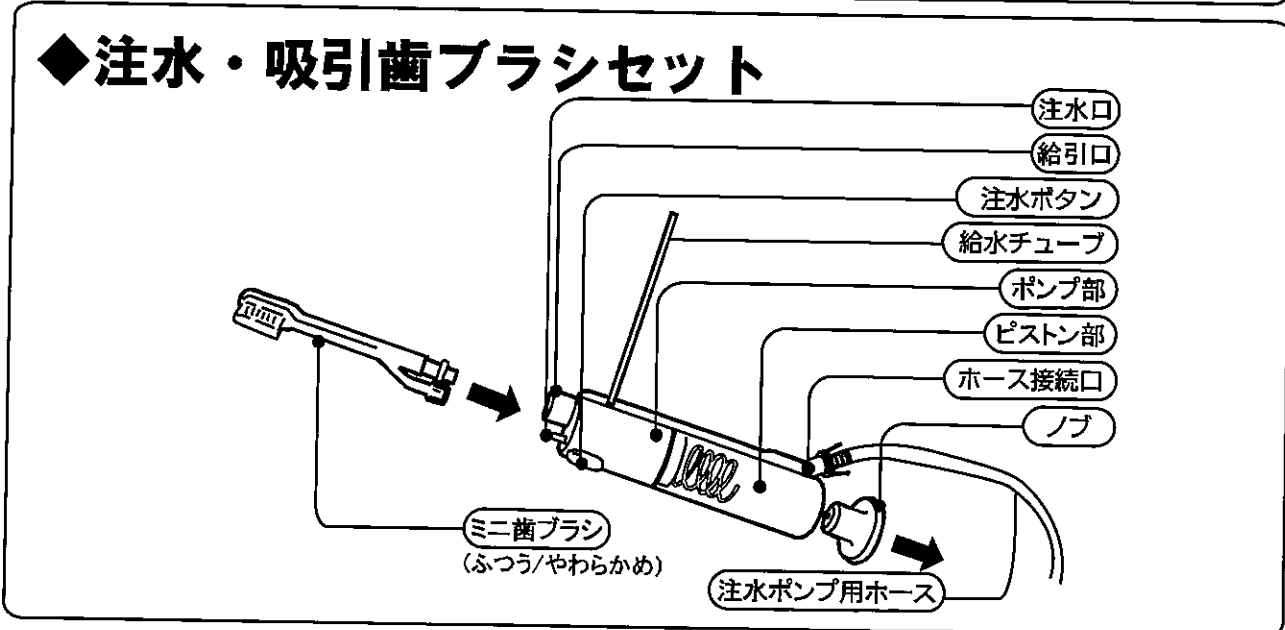
△ ご注意

- 本製品の使用に際しては、必ず補助者または介護者が取り扱い、入院患者、高齢者、被介護者が自ら使用しないようにしてください。
- ご使用前、必ず同梱包のビデオをご覧ください。

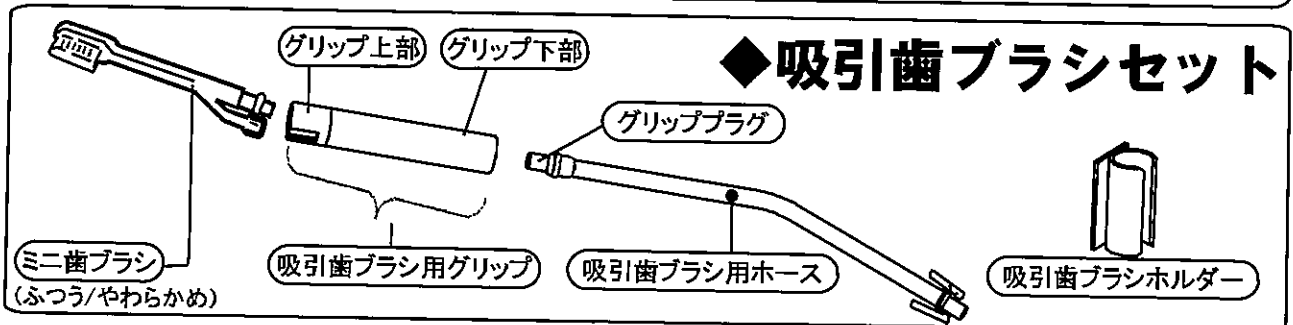
◆ビバラックプラス



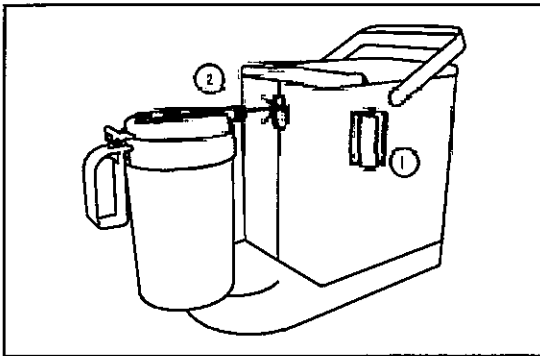
◆注水・吸引歯ブラシセット



◆吸引歯ブラシセット



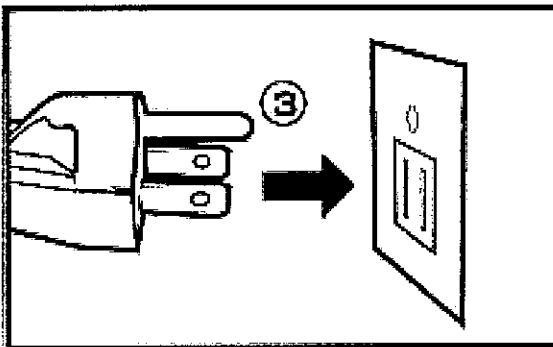
◆共通の準備(ビバラックプラスの準備)



- ①チップホルダーを本体に貼り付ける。
- ②水分離機を本体に差し込む

△ ご注意

- 差し込みが浅かったり、傾いて取り付けますと、使用しているときに外れたり、吸引もれで吸う力が弱くなるおそれがあります。
- 1種類のみ吸引を行う場合(水分離器上蓋部吸引口の使用が1箇所のみ)は必ず水分離器上部のキャップを閉めてください。

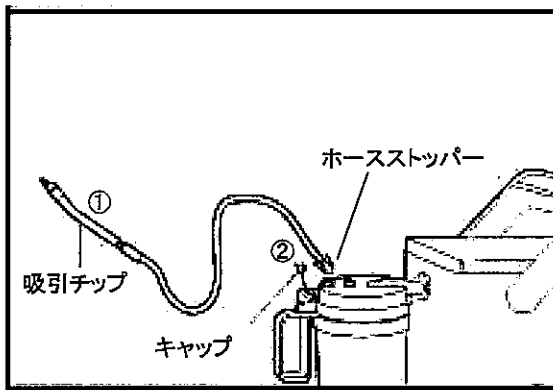


- ③本体の電源プラグをAC100V-10A以上の専用コンセントにしっかり差し込む。

△ ご注意

- 蛸足配線は絶対にしないでください。
- 感電防止のため、濡れた手およびコードを持つてのプラグの抜き差しは絶対に行わないでください。
- 定格不足の延長電源コードは使用しないでください。[定格AC 100V-12A]

◆「吸引チップ」を使用する場合

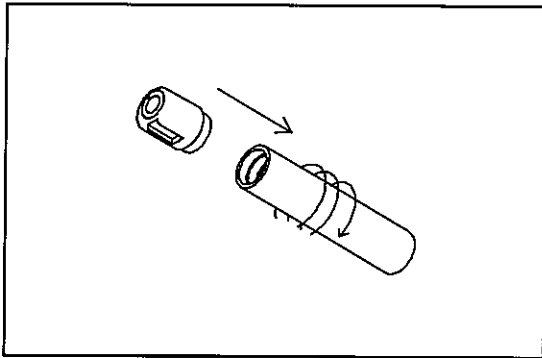


- ①吸引チップ用ホースに吸引チップをつなぐ
- ②水分離器上蓋の穴に吸引チップ用ホース先端のホースストッパーをカチッと音がするまで差し込む。
- ③水分離器上蓋のもう一方の穴にキャップを閉めてください

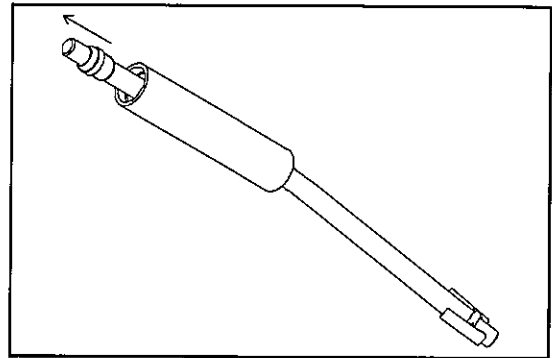
△ ご注意

- 使用後(吸引を行った後)は水を吸引させてください。

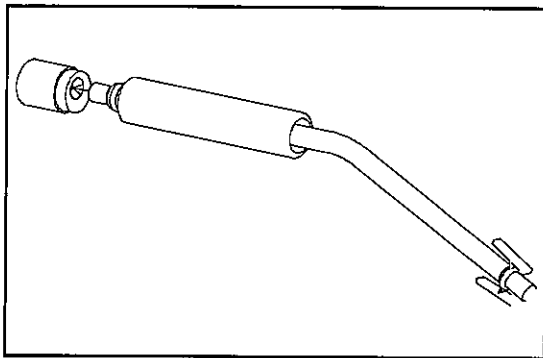
◆「吸引歯ブラシ」を使用する場合



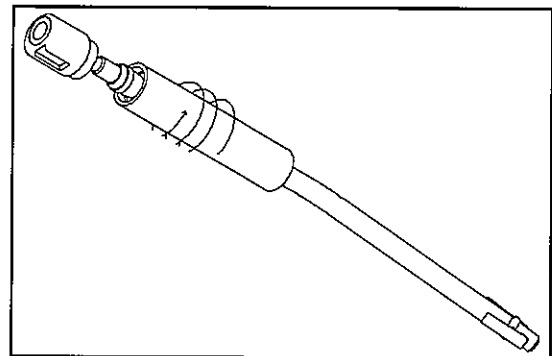
①グリップ下部を回して、グリップ上部と分ける。



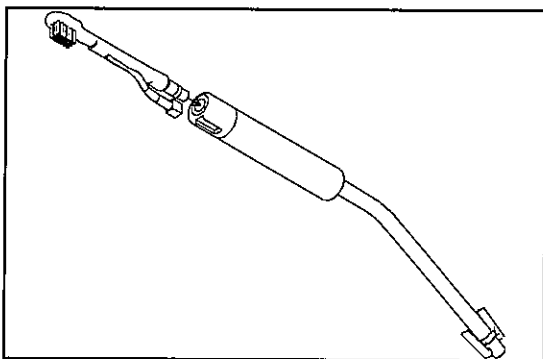
②グリップ下部に吸引歯ブラシ用ホースを図のように通す。



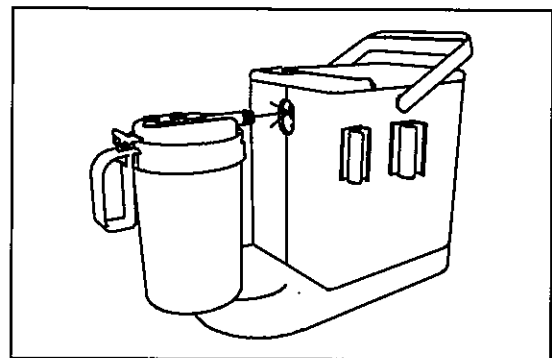
③グリップ上部にグリッププラグを奥まで差し込む。



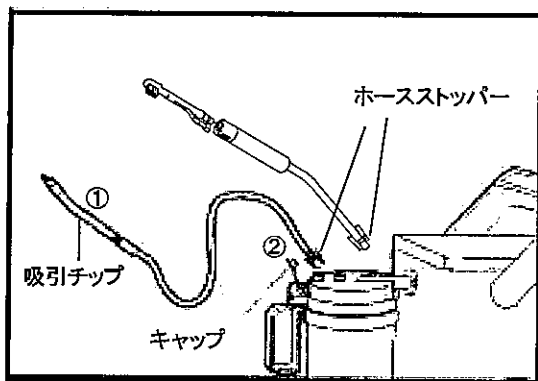
④グリップ下部を回してグリップ上部に取り付ける。



⑤歯ブラシをカチッと音がするまで、確実に差し込む。



⑥吸引歯ブラシホルダーを本体に貼り付ける。
⑦水分離機を本体に差し込む

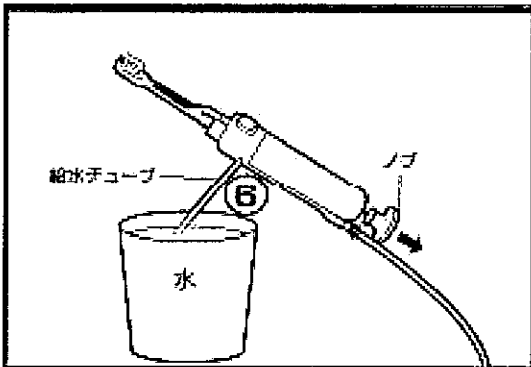
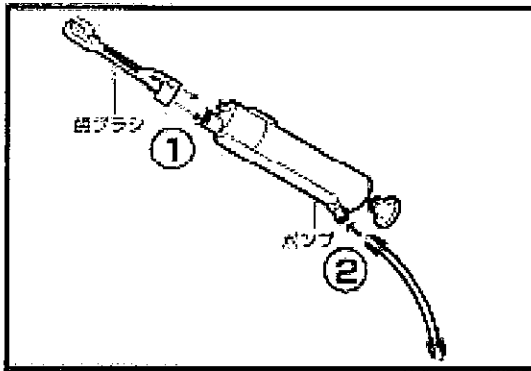


- ⑧水分離器上部の穴に吸引歯ブラシ用ホースのホースストッパーをカチッと音がするまで差し込む。
⑨水分離器上部のもう一方のキャップを外し、吸引チップのホースストッパーをカチッと音がするまで差し込む。

△ ご注意

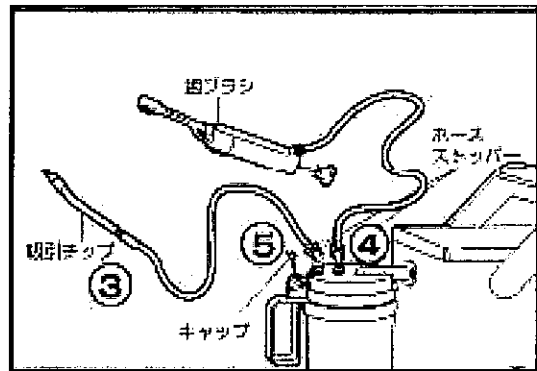
- 歯ブラシの向きは図のように2つに分かれた部分が溝に入るように取り付けて下さい。
- 吸引チップを使わないときは、必ず水分離器上部のキャップを閉めてください。

◆注水・吸引歯ブラシを使用する場合



△ ご注意

- 水以外の液体歯磨きなどは、ポンプの故障の原因となりますので使わないでください。
- 歯ブラシの着脱はまっすぐにおこなってください。めに力を加えると、ポンプが破損する恐れがあります。

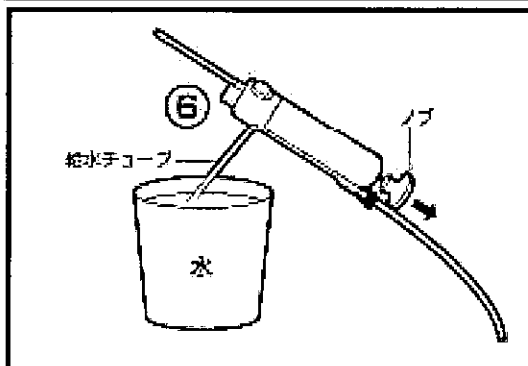
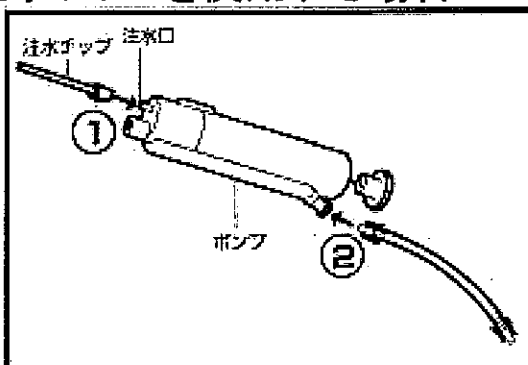


①歯ブラシをカチッと音がするまで確実に差し込む。

△ ご注意

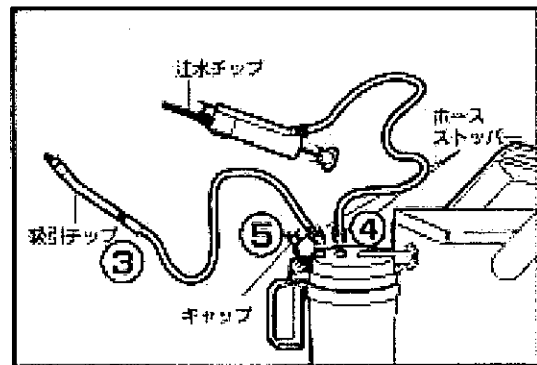
- 二つに分かれた、歯ブラシの取り付け部を両方とも確実に取り付けてください。
- ②注水ポンプ用ホースをポンプに図のようにつなぐ。
- ③吸引チップ用ホースに吸引チップをつなぐ。
- ④水分離器上蓋の穴に注水ポンプ用ホースのホースストッパーをカチッと音がするまで差し込む。
- ⑤水分離器上蓋のもう一方のキャップをはずし、吸引チップのホースストッパーをカチッと音がするまで差し込む。
- ⑥給水チューブを起こし、給水チューブの先端を水に入れる。ゆっくりノブを引ながらポンプ内に水を入れます。給水チューブ内に残った水がたれないように、もう一度ノブを軽く引いてください。ノブを引き終わったら、給水チューブを元通りに寝かせてください。

◆注水チップを使用する場合



△ ご注意

- 水以外の液体歯磨きなどは、ポンプの故障の原因となりますので使わないでください。
- 注水チップの着脱はまっすぐにおこなってください。斜めに力を加えないでください。



- ①注水チップをポンプの注水口につなぐ。
※注水チップは折り曲げても使えます。上あごには角度を付けてください。
- ②ポンプに歯ブラシ用ホースを図のようにつなぐ。
- ③吸引チップ用ホースに吸引チップをつなぐ。
- ④水分離器上蓋の穴に注水ポンプ用ホースのホースストッパーをカチッと音がするまで差し込む。
- ⑤水分離器上蓋のもう一方のキャップをはずし、吸引チップのホースストッパーをカチッと音がするまで差し込む。

△ ご注意

- 注水チップを使わないときは必ず水分離器上蓋のキャップを開けてください。
- ⑥給水チューブを起こし、給水チューブの先端を水に入れる。ゆっくりノブを引ながらポンプ内に水を入れます。給水チューブ内に残った水がたれないように、もう一度ノブを軽く引いてください。ノブを引き終わったら、給水チューブを元通りに寝かせてください。

①『吸引歯ブラシの使い方』
(座位が保てる人の場合)



座位が保てる人には、口の奥まで見える状態でブラッシングを行います。
指で唇の端を後ろに押し広げ、ペンライトの明りで口の中の奥までよく確認します。



座麻痺状態などで食べ物の残りカスが多い人は、ブラッシングの前に吸引チップで吸い取ってください。

△ ご注意

●吸引チップを同一箇所になく当てたまま吸引口をふさいだ状態で吸引しますと、口腔内を傷つけるおそれがあります。



毛先を歯の面に対して直角になるように当てて、細かく振動させながら汚れを落とします。
！！ワンポイント！！
口腔内が炎症を起こしている場合等は「やわらかめ」の歯ブラシをお勧めします。

△ ご注意

●力の入れすぎは口腔内を傷つける恐れがあります。力の入れすぎにご注意ください。

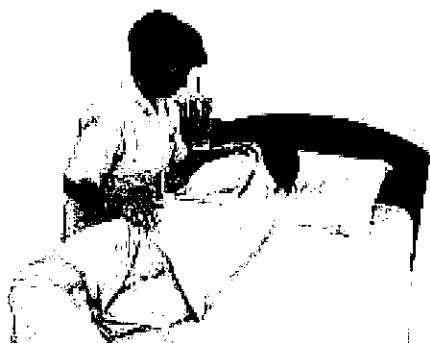


口の下の方に溜まった水は、ブラシを移動させながら吸引します。

△ ご注意

●感電防止のため、濡れた手でスイッチに触れないでください

②『吸引歯ブラシの使い方』
(座位が保てない人の場合)



座位が保てない人の場合は、誤嚥しないように寝た状態で横向きにしてブラッシングを行います。麻痺のある人は、麻痺側を上に乗せてください。

△ ご注意

●寝た姿勢での口腔ケアは、誤嚥する危険があります。誤嚥に充分注意し、医師、歯科医師、歯科衛生士の指示に従ってください。



※口の中に食べ物の残りカスが多い人は、前頁と同様の手順で取り除きます。

横向きにした後は、毛布などで身体を固定してください。

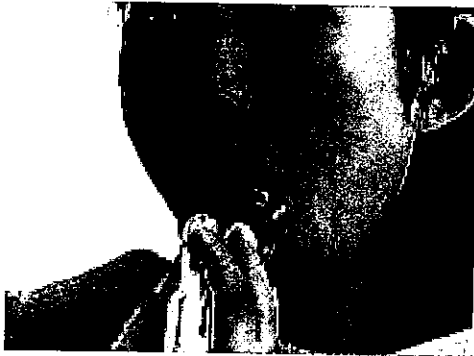


ブラッシングの際は、安全のためにベッドに近い方の唇の端を押し広げて、水を飲み込めない状態にすることで、謝って水を飲み込んでしまう事を防ぎます。

△ ご注意

●水分離器のタコは、一定量の水が溜まると自動的にバキュームが停止しますので水があふれることはありませんが、タンク容量の7割程度に達する前に水を捨ててください。

③『注水・吸引歯ブラシの使い方』
(座位が保てる人の場合)



座位が保てる人には、口の奥まで見える状態でブラッシングを行います。
指で唇の端を後ろに押し広げ、ペンライトの明りで口の中の奥までよく確認します。



座麻痺状態などで食べ物の残りカスが多い人は、ブラッシングの前に注水チップで少量の水を出しながら、吸引チップで吸い取ってください。
残りカスがなくなったら、注水チップを抜き、歯ブラシに付けかえます。

△ ご注意

●吸引チップを同一箇所になく当てたまま吸引口をふさいだ状態で吸引しますと、口腔内を傷つけるおそれがあります。



注水ボタンを押し、少量の水を時々流しながら、毛先を歯の面に対して直角になるように当てて、細かく振動させながら汚れを落とします。

！！ワンポイント！！

口腔内が炎症を起こしている場合等は「やわらかめ」の歯ブラシをお勧めします。

△ ご注意

●力の入れすぎは口腔内を傷つける恐れがあります。力の入れすぎにご注意ください。

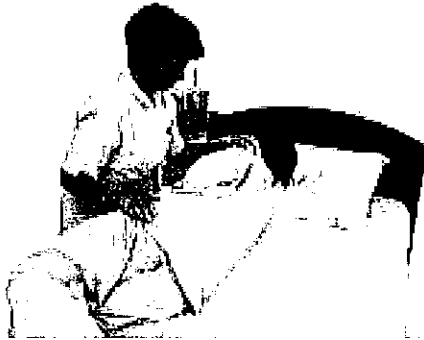


口の下の方に溜まった水は、ブラシを移動させながら吸引します。

△ ご注意

●誤嚥に十分注意し、必要な時のみ注水してください。
●感電防止のため、濡れた手でスイッチに触れないでください。

④『注水・吸引歯ブラシの使い方』 (座位が保てない人の場合)



座位が保てない人の場合は、誤嚥しないように寝た状態で横向きにしてブラッシングを行います。麻痺のある人は、麻痺側を上に乗せてください。

△ ご注意

●寝た姿勢での口腔ケアは、誤嚥する危険があります。誤嚥に充分注意し、医師、歯科医師、歯科衛生士の指示に従ってください。



横向きにした後は、毛布などで身体の位置を固定してください。

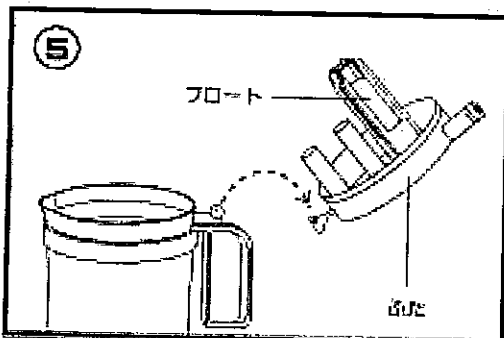
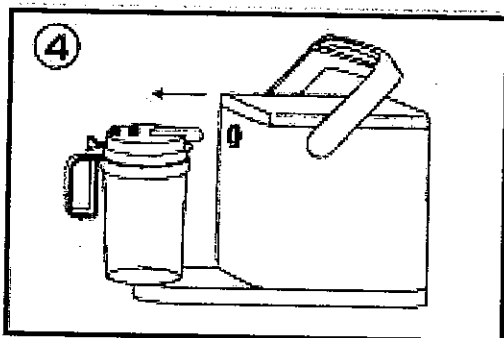
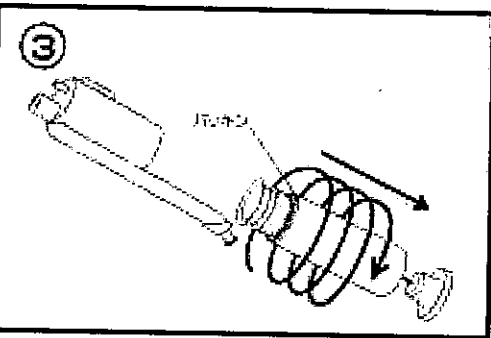
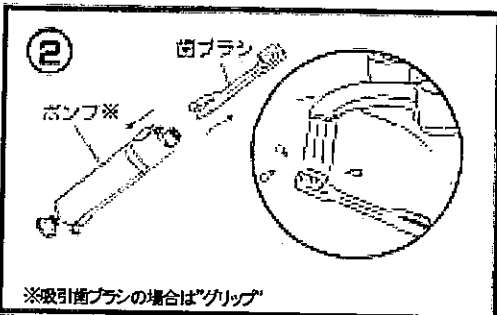
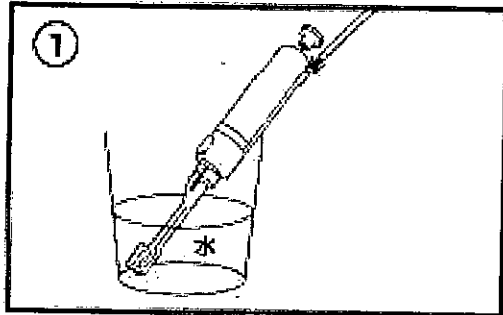
※口の中に食べ物の残りカスが多い人は、前頁と同様の手順で取り除きます。



ブラッシングの際は、安全のためにベッドに近い方の唇の端を押し広げて、水を飲み込めない状態にすることで、謝って水を飲み込んでしまう事を防ぎます。

△ ご注意

●水分離器のタンクは、一定量の水が溜まると自動的にバキュームが停止しますので水があふれることはありませんが、タンク容量の7割程度に達する前に水を捨ててください。



歯ブラシ/吸引チップ

- 使用後の歯ブラシや吸引チップは、コップ1杯分のきれいな水を吸わせてください。(図①)
- 歯ブラシはポンプ(またはグリップ)を手で持ってまっすぐに引き抜き、必ず水道水で水洗いし、よく乾かしてから収納してください。(図②)

※清掃用棒ブラシを使用する際は、針金部を持ち下図のように吸引チップ、歯ブラシ、注水ポンプにブラシ部を差し込み清掃します。



※吸引歯ブラシ用グリップの汚れは中性洗剤にて洗浄して下さい。

ポンプ

- ポンプ内に残った水は、必ず注水ボタンを押して捨ててください。
- ポンプの透明部を矢印の方向に回しながら取り外し、ピストン部を水洗いします。(図③)
- パッキンが確実にセットされていることを確認した後、信を引いた状態で外したときと逆方向に回しながら、元通り接続します。
※必要以上に強くしめないで下さい、故障の原因となります。
- ノブを引き、注水ボタンを押す作業を2~3回繰り返し、空気の漏れないことを確認します。
- ノブを引き、注水ボタンを押す作業を2~3回繰り返し、収納の際は、注水ボタンを下にして収納します。(収納方法参照)

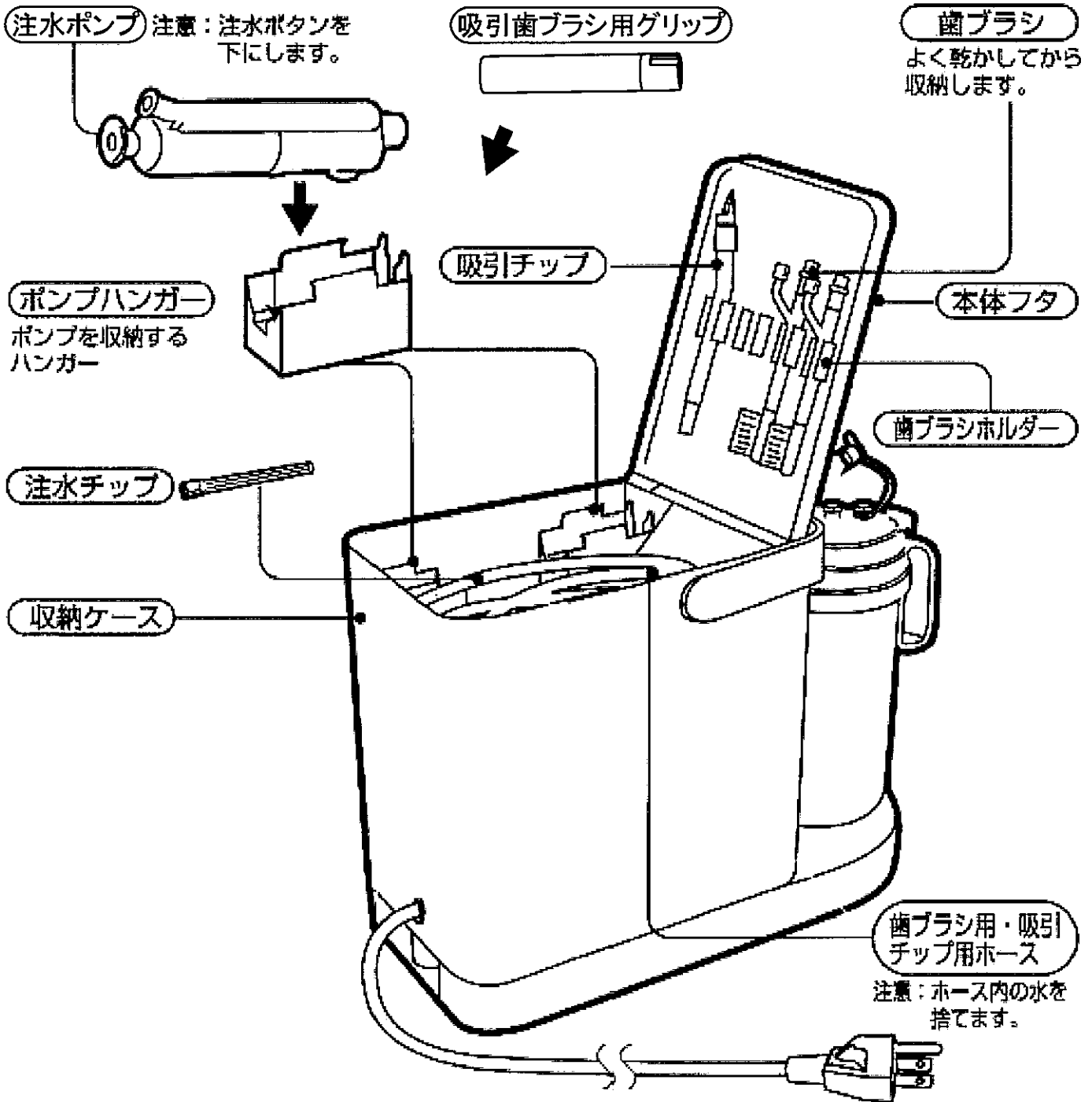
水分離器の清掃


- 歯各種ホースを外して把手を持って手前に引っ張り、本体より取り外します。(図④)
- ふたを開け水分離器内の水を捨てます。
- ふたを取り外し水分離器内およびフローとを水洗いします。(図⑤)
- フロートが動くことを確認し、ふたをパチンと音がするように確実に取り付け、本体に差し込みます。

△ ご注意

- 水洗いの後、フロートがスムーズに動くことを必ず確認してから上蓋を閉じてください。

収納方法



別売品・ソフトケース	 <p>ビバラックの持ち運びや収納に便利な専用ソフトケースです。</p>	別売品・歯ブラシ	 <p>ふつら(イェロー)とやわらかめ(ピンク)</p>
------------	---	----------	--

ご注意

- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- 電源コードを引っばってプラグを抜かないでください。(故障の原因となります)
- 通常の口腔内の清掃、歯磨き以外の用途には使用しないでください。(故障の原因となります)

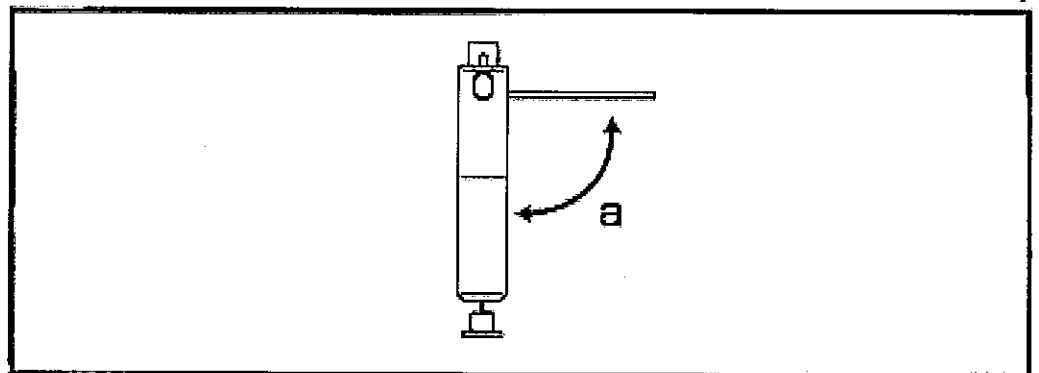
注水チップ

●注水チップを使用する場合は、必ず吸引チップを先に口の中に入れてから注水チップを使用してください。吸引チップを使用しないで注水チップから水を注水すると、誤って水を飲み込んでしまうおそれがありますのでご注意ください。

●手元の注水ボタンで調整しながら注水を行ってください。

- 水を捨てた後は、注水ボタンを必ず下にして本体に収納してください。
- ポンプ内に水を6時間以上入れておかないようにしてください。(水漏れがおきる場合があります)
- 使用後はポンプ内の水を捨ててください。
- 水以外は入れないでください。(故障の原因となります)
- 液体歯磨などは使用しないでください。(故障の原因となります)
- 給水チューブは図の a 方向に約90°しか動きませんので それ以上の角度や他の方向には動かさないでください。(破損の原因となります)

ポンプ部



本体部

- 本体は水平に置いて使用してください。斜めに置いて使用すると、分離器タンク内に水がたまった場合、タンクが落ちることがあります。
- 分解しないでください。(故障の原因となります)
- お手入れには中性洗剤を使用し、シンナー等で拭かないようにしてください。
- 連続30分を超える長時間の使用は、さけてください。
- 排気口周辺は、排気の熱により温度が高くなりますのでご注意ください。

症状1 スイッチを入れてもモーターが動かない。

原因 電源プラグが抜けている。

処置 電源プラグをコンセントにきちんと差し込む。

原因 電源プラグが抜けている。

処置 電源プラグをコンセントにきちんと差し込む。

症状1 吸引が弱い。

原因 ホースが緩んでいる。

処置 ホースをきちんと差し込む。

原因 分離器のジョイントがゆるい。

処置 きちんと本体に差し込む。

症状1 水が出ない。

原因 ポンプに水が入っていない。

処置 ポンプに水を入れる。

原因 ゴミがたまっている。

処置 分解をせずに、販売店または当社にご連絡ください。

原因 ポンプに水を給水できない。

処置 給水する際コップの底に給水チューブが接触しないよう給水する。

症状1 吸引しない。

原因 電源が入っていない。

処置 電源プラグをコンセントに差し込む。

原因 ホースが外れている。

処置 ホースをきちんと差し込む。

原因 分離器が接続されていない。

処置 分離器をきちんと本体に接続する。

いずれの状態にも当てはまらない場合は、最寄のお問い合わせ先までご連絡ください。

※お客様ご自身で処理されたり、手を加えたりすることは危険です。
絶対にしないでください。

歯科用セントラルサクションシステムの専門メーカー

株式会社 東京技研

URL: <http://www.tokyogiken.com>

E-mail: TG@tokyogiken.com

本社: 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
TEL: 03-3703-5581(代) FAX: 03-3705-1760
仙台営業所: 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-28-2
TEL: 022-371-9651 FAX: 022-371-9653
名古屋営業所: 〒465-0005 愛知県名古屋市名東区香流1-622
TEL: 052-776-3355 FAX: 052-776-3356
大阪営業所: 〒564-0082 大阪府吹田市藤水町3-9-1
TEL: 06-6368-8877 FAX: 06-6368-8876
福岡営業所: 〒812-0042 福岡市博多区豊1-8-21
TEL: 092-411-0377 FAX: 092-411-0378
横浜工場: 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37
TEL: 045-591-4441 FAX: 045-591-4445
(ISO9001
ISO13485
認証工場)



仕様は予告なく変更する場合がございます。

060801b